

2019 9/10

No.2098

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



子どもの健やかな成長を願う夏の恒例イベント「地蔵盆ナイト」が8月24日、伊勢原市東大竹の大宝寺で開かれ、集まった檀家(だんか)や子どもたち約60人が、巨大な数珠を回す「百万遍念仏数珠繰り回向」に臨み、無病息災を祈った。



視点・点描	3
ダイナミズム生む多様性	
講演録	4
人口減少社会の実相～日本の課題と挑戦 明治大学政経学部特任教授 金子 隆一	
国際	8
フィリピン移住という選択 2千万円問題で揺れる国から	
政治	12
米政権を支える頭脳集団 「シンクタンク」とは(上)	
くらし2019	14
障害関係なくスポーツを	
企業最前線	16
センサー技術で「見守り」支援 介護人材の不足をカバー	
アジアの風	18
水不足に「氷ドーム」はいかが	
NNAアジア経済レポート	19

事務局だより

◇2019年9月定例講演会

9月18日(水)午後1時30分～3時

ロイヤルホールヨコハマ5階「リビエラの間」

講師は中央大学法科大学院特任教授の森信茂樹さん

演題は「消費税10% どうなる景気」

◇2019年10月定例講演会

10月16日(水)午後1時15分～3時15分(開始時間、終了時間とも通常とは異なります)

横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ5階「柏」

講師は神奈川県よろず支援拠点コーディネーターの浦川拓也さん、神奈川新聞社経済部長の吉田勝行さん

演題は「マスコミデビューしよう!」記者の視点で我が社をPR

【お知らせ】 神奈川政経懇話会ではホームページ(www.kanagawa-seikon.jp)に会員コーナーを設けました。新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな情報を掲載します。問い合わせは事務局 ☎045(226)2121。

視点 点描



ダイナミズム生む多様性

移民で成り立つ米国は、人種・民族、宗教などに基づく差別を禁止している。その成り立ちや人口構成から、一定の考え方や生活スタイルに同化・同調させるのではなく、多様性こそがダイナミズムを生むという考え方は、ラグビーにも通ずるものがある。

身長、体重といった体格面から、個々の動きや強み、出身地に至る

まで、個性あふれる面々が一つの楯円球を追う。いろいろなタイプが目標に向かって汗を流す姿や、手を抜く者がいるとしわ寄せがいく様は、企業や組織のありようにも重なって映る。多様な集団の中で、一人のプレーヤーに注目して見るのも一つの楽しみ方だ。

アジアで初めてとなるラグビーのワールドカップ（W杯）が9月20日に開幕する。五輪、サッカーW杯と並ぶ一大スポーツイベントは、11月2日に横浜国際総合競技場で行われる決勝までの44日間。一生に一度あるかないかの貴重な機会である。日本代表は4年前のイングランド大会で、過去2度優勝したことがある南アフリカから大金星を挙げており、上位進出への期待が高まる。

注目したいのが、神奈川ゆかりの選手。スクラムの屋台骨となるフォワードの稲垣啓太選手（関東学院大出身）、トライを量産することが期待されるバックスの松島幸太郎選手（桐蔭学園高出身）は、ともに日本代表の攻守の要だ。相手の攻撃をしぶといタックルで止める稲垣選手、俊足で敵陣深く走り込む松島選手。異なる強みを持った2人の活躍は、日本代表の躍進には欠かせないピースだ。日本代表は、31人のうち15人が

外国出身選手という編成である。日本人の母とジンバブエ人の父にルーツを持つ松島選手は、高校卒業後、南アのチームでプレーした経験がある。

こうした多様性豊かな選手たちが、W杯を前に何を考え、本番ではどう向き合おうとしているのか。残念ながら厳しい取材規制の中で、生の声をなかなか拾うことができないでいる。ラグビーファンを増やし、アジアで初めて開催されるW杯を成功させるためにも、もう少し彼らの人となりに肉薄していく機会をいただきたいものである。

これほど多様な「日本代表」の競技はまれである。その多様性が生むダイナミズムをたっぷり楽しめる世紀の祭典が、いよいよ始まる。日本代表の初戦は20日、東京スタジアムで行われる。

（神奈川新聞社運動部長
兼映像編集部長 佐藤 英仁）